

付録H 申請書共通ボキャブラリ・リファレンス【DTD版】(申請データ設計ガイドライン)との対応分)

モジュール名	モジュールの定義	モジュール		様式設計者の利用例	
		エンティティ	エレメント		
氏名 氏名	<!ELEMENT 氏名-1- (%e.氏名-0;)>	e.氏名-0	氏名-1-	DTD定義	<!ELEMENT 代表者氏名 (氏名-1-,氏名フリガナ-1-) >
				マークアップ	<代表者氏名> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <氏名フリガナ-1->ヤマダタロウ</氏名フリガナ-1-> </代表者氏名>
	<!ELEMENT 氏名-2- (%e.氏名-1;)>	e.氏名-1	氏名-2-	DTD定義	<!ELEMENT 代表者氏名 (氏名-2-,氏名フリガナ-2-) >
				マークアップ	<代表者氏名> <氏名-2-> <氏>山田</氏> <名>太郎</名> </氏名-2-> <氏名フリガナ-2-> <氏フリガナ>ヤマダ</氏フリガナ> <名フリガナ>タロウ</名フリガナ> </氏名フリガナ-2-> </代表者氏名>
氏名フリガナ 氏フリガナ 名フリガナ	<!ELEMENT 氏名フリガナ-1- (%e.フリガナ-0;)>	e.フリガナ-0	氏名フリガナ-1-	DTD定義	<!ELEMENT 代表者氏名 (氏名-1-,氏名フリガナ-1-) >
				マークアップ	<代表者氏名> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <氏名フリガナ-1->ヤマダタロウ</氏名フリガナ-1-> </代表者氏名>
	<!ELEMENT 氏フリガナ (%e.フリガナ-0;)> <!ELEMENT 名フリガナ (%e.フリガナ-0;)> <!ENTITY % e.氏名フリガナ-2- "氏フリガナ, 名フリガナ"> <!ELEMENT 氏名フリガナ-2- (%e.氏名フリガナ-2-;)>	e.氏名フリガナ-2-	氏フリガナ 名フリガナ 氏名フリガナ-2-	DTD定義	<!ELEMENT 代表者氏名 (氏名-2-,氏名フリガナ-2-) >
				マークアップ	<代表者氏名> <氏名-2-> <氏>山田</氏> <名>太郎</名> </氏名-2-> <氏名フリガナ-2-> <氏フリガナ>ヤマダ</氏フリガナ> <名フリガナ>タロウ</名フリガナ> </氏名フリガナ-2-> </代表者氏名>

モジュール名	モジュールの定義	モジュール		様式設計者の利用例	
		エンティティ	エレメント		
住所 都道府県 市区町村等 市区町村 町名等 町域 番地 建物等 市郡 区	<ELEMENT 住所-1- (%e.住所-0-)>	e.住所-0	住所-1-	DTD定義	<ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-1-) >
				マークアップ	<代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-1->東京都港区三田一丁目4番28号</住所-1-> </代表者の住所>
	<ENTITY % e.市区町村等 "#PCDATA"> <ELEMENT 市区町村等 (%e.市区町村等;)> <ENTITY % e.住所-2- "都道府県, 市区町村等"> <ELEMENT 住所-2- (%e.住所-2-)>	e.市区町村等 e.住所-2-	市区町村等 住所-2-	DTD定義	-モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 申請者の住所 (%e.住所-2-;) > -モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-2-) >
				マークアップ	-モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <申請者の住所> <都道府県>東京都</都道府県> <市区町村等>港区三田一丁目4番28号</市区町村等> </申請者の住所> -モジュールの"エレメント"を参照する例 <代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-2-> <都道府県>東京都</都道府県> <市区町村等>港区三田一丁目4番28号</市区町村等> </住所-2-> </代表者の住所>
	<ENTITY % e.市区町村 "#PCDATA"> <ELEMENT 市区町村 (%e.市区町村;)> <ENTITY % e.住所-3- "都道府県, 市区町村, 町名等"> <ELEMENT 住所-3- (%e.住所-3-)>	e.市区町村 e.住所-3-	市区町村 住所-3-	DTD定義	-モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 申請者の住所 (%e.住所-3-;) > -モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-3-) >
				マークアップ	-モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <申請者の住所> <都道府県>東京都</都道府県> <市区町村>港区</市区町村> <町名等>三田一丁目4番28号</町名等> </申請者の住所> -モジュールの"エレメント"を参照する例 <代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-3-> <都道府県>東京都</都道府県> <市区町村>港区</市区町村> <町名等>三田一丁目4番28号</町名等> </住所-3-> </代表者の住所>
<ENTITY % e.町域 "#PCDATA"> <ENTITY % e.番地 "#PCDATA"> <ENTITY % e.建物等 "#PCDATA"> <ELEMENT 町域 (%e.町域;)> <ELEMENT 番地 (%e.番地;)> <ELEMENT 建物等 (%e.建物等;)> <ENTITY % e.住所-4- "都道府県, 市区町村, 町域, 番地, 建物等"> <ELEMENT 住所-4- (%e.住所-4-)>	e.町域 e.番地 e.建物等 e.住所-4-	町域 番地 建物等 住所-4-	DTD定義	-モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 申請者の住所 (%e.住所-4-;) > -モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-4-) >	
			マークアップ	-モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <申請者の住所> <都道府県>東京都</都道府県> <市区町村>港区</市区町村> <町域>三田</町域> <番地>一丁目4番28号</番地> <建物等>三田国際ビル23F</建物等> </申請者の住所> -モジュールの"エレメント"を参照する例 <代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-4-> <都道府県>東京都</都道府県> <市区町村>港区</市区町村> <町域>三田</町域> <番地>一丁目4番28号</番地> <建物等>三田国際ビル23F</建物等> </住所-4-> </代表者の住所>	
<ELEMENT 住所-5- (%e.住所-1-)>	e.住所-1	住所-5-	DTD定義	<ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-5-) >	
			マークアップ	<代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-5-> <都道府県>東京都</都道府県> <市郡></市郡> <区>港区</区> <町名等>三田一丁目4番28号</町名等> </住所-5-> </代表者の住所>	

モジュール名	モジュールの定義	モジュール		様式設計者の利用例	
		エンティティ	エレメント		
住所フリガナ 都道府県フリガナ 市区町村等フリガナ 市区町村フリガナ 町名等フリガナ 町域フリガナ 番地フリガナ 建物等フリガナ 市郡フリガナ 区フリガナ	<ELEMENT 住所フリガナ-1- (%e.フリガナ-0)>	e.フリガナ-0	住所フリガナ-1-	DTD定義	<ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-1-, 住所フリガナ-1-)>
				マークアップ	<代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-1->東京都港区三田一丁目4番28号</住所-1-> <住所フリガナ-1->トウキョウトミナトクミタイツチヨウメ4バン28ゴウ</住所フリガナ-1-> </代表者の住所>
	<ELEMENT 都道府県フリガナ (%e.フリガナ-0)> <ELEMENT 市区町村等フリガナ (%e.フリガナ-0)> <ENTITY % e.住所フリガナ-2- "都道府県フリガナ, 市区町村等フリガナ"> <ELEMENT 住所フリガナ-2- (%e.住所フリガナ-2-)>	e.住所フリガナ-2-	都道府県フリガナ 市区町村等フリガナ 住所フリガナ-2-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 申請者の住所フリガナ (%e.住所フリガナ-2-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-2-, 住所フリガナ-2-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <申請者の住所フリガナ> <都道府県フリガナ>トウキョウト</都道府県フリガナ> <市区町村等フリガナ>ミナトクミタイツチヨウメ4バン28ゴウ</市区町村等フリガナ> </申請者の住所フリガナ> モジュールの"エレメント"を参照する例 <代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-2-> <都道府県>東京都</都道府県> <市区町村等>港区三田一丁目4番28号</市区町村等> </住所-2-> <住所フリガナ-2-> <都道府県フリガナ>トウキョウト</都道府県フリガナ> <市区町村等フリガナ>ミナトクミタイツチヨウメ4バン28ゴウ</市区町村等フリガナ> </住所フリガナ-2-> </代表者の住所>
	<ELEMENT 市区町村フリガナ (%e.フリガナ-0)> <ELEMENT 町名等フリガナ (%e.フリガナ-0)> <ENTITY % e.住所フリガナ-3- "都道府県フリガナ, 市区町村フリガナ, 町名等フリガナ"> <ELEMENT 住所フリガナ-3- (%e.住所フリガナ-3-)>	e.住所フリガナ-3-	市区町村フリガナ 町名等フリガナ 住所フリガナ-3-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 申請者の住所フリガナ (%e.住所フリガナ-3-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-3-, 住所フリガナ-3-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <申請者の住所フリガナ> <都道府県フリガナ>トウキョウト</都道府県フリガナ> <市区町村フリガナ>ミナトク</市区町村フリガナ> <町名等フリガナ>ミタイツチヨウメ4バン28ゴウ</町名等フリガナ> </申請者の住所フリガナ> モジュールの"エレメント"を参照する例 <代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-3-> <都道府県>東京都</都道府県> <市区町村>港区</市区町村> <町名等>三田一丁目4番28号</町名等> </住所-3-> <住所フリガナ-3-> <都道府県フリガナ>トウキョウト</都道府県フリガナ> <市区町村フリガナ>ミナトク</市区町村フリガナ> <町名等フリガナ>ミタイツチヨウメ4バン28ゴウ</町名等フリガナ> </住所フリガナ-3-> </代表者の住所>
	<ELEMENT 町域フリガナ (%e.フリガナ-0)> <ELEMENT 番地フリガナ (%e.フリガナ-0)> <ELEMENT 建物等フリガナ (%e.フリガナ-0)> <ENTITY % e.住所フリガナ-4- "都道府県フリガナ, 市区町村フリガナ, 町域フリガナ, 番地フリガナ, 建物等フリガナ"> <ELEMENT 住所フリガナ-4- (%e.住所フリガナ-4-)>	e.住所フリガナ-4-	町域フリガナ 番地フリガナ 建物等フリガナ 住所フリガナ-4-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 申請者の住所フリガナ (%e.住所フリガナ-4-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-4-, 住所フリガナ-4-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <申請者の住所フリガナ> <都道府県フリガナ>トウキョウト</都道府県フリガナ> <市区町村フリガナ>ミナトク</市区町村フリガナ> <町域フリガナ>ミタ</町域フリガナ> <番地フリガナ>イチヨウメ4バン28ゴウ</番地フリガナ> <建物等フリガナ>ミタコクサイビル23カイ</建物等フリガナ> </申請者の住所フリガナ> モジュールの"エレメント"を参照する例 <代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-4-> <都道府県>東京都</都道府県> <市区町村>港区</市区町村> <町域>三田</町域> <番地>一丁目4番28号</番地> <建物等>三田国際ビル23F</建物等> </住所-4-> <住所フリガナ-4-> <都道府県フリガナ>トウキョウト</都道府県フリガナ> <市区町村フリガナ>ミナトク</市区町村フリガナ> <町域フリガナ>ミタ</町域フリガナ> <番地フリガナ>イチヨウメ4バン28ゴウ</番地フリガナ> <建物等フリガナ>ミタコクサイビル23カイ</建物等フリガナ> </住所フリガナ-4-> </代表者の住所>

モジュール名	モジュールの定義	モジュール		様式設計者の利用例	
		エンティティ	エレメント		
	<!ELEMENT 市郡フリガナ (%e.フリガナ-0;)> <!ELEMENT 区フリガナ (%e.フリガナ-0;)> <!ENTITY % e.住所フリガナ-5- "都道府県フリガナ, 市郡フリガナ, 区フリガナ, 町名等フリガナ"> <!ELEMENT 住所フリガナ-5- (%e.住所フリガナ-5-;)>	e.住所フリガナ-5-	市郡フリガナ 区フリガナ 住所フリガナ-5-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 申請者の住所フリガナ (%e.住所フリガナ-5-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-5-, 住所フリガナ-5-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <申請者の住所フリガナ> <都道府県フリガナ> トウキョウト/都道府県フリガナ <市郡フリガナ></市郡フリガナ> <区フリガナ>ミナトク/区フリガナ <町名等フリガナ>ミタイチ ヨウメ4バン28ゴウ</町名等フリガナ> </申請者の住所フリガナ> モジュールの"エレメント"を参照する例 <代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-5-> <都道府県>東京都</都道府県> <市郡></市郡> <区>港区</区> <町名等>三田一丁目4番28号</町名等> </住所-5-> <住所フリガナ-5-> <都道府県フリガナ> トウキョウト/都道府県フリガナ <市郡フリガナ></市郡フリガナ> <区フリガナ>ミナトク</区フリガナ> <町名等フリガナ>ミタイチ ヨウメ4バン28ゴウ</町名等フリガナ> </住所フリガナ-5-> </代表者の住所>
郵便番号 配達局番号 町域番号	<!ELEMENT 郵便番号-1- (%e.郵便番号-0;)>	e.郵便番号-0	郵便番号-1-	DTD定義	<!ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-1-, 住所-1-)>
				マークアップ	<代表者の住所> <郵便番号-1->100-1111</郵便番号-1-> <住所-1->東京都港区三田一丁目4番28号</住所-1-> </代表者の住所>
	<!ENTITY % e.郵便番号-2- "#PCDATA"> <!ELEMENT 郵便番号-2- (%e.郵便番号-2-;)>	e.郵便番号-2-	郵便番号-2-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 申請者の郵便番号 (%e.郵便番号-2-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-2-, 住所-1-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <申請者の郵便番号>1001111</申請者の郵便番号> モジュールの"エレメント"を参照する例 <代表者の住所> <郵便番号-2->1001111</郵便番号-2-> <住所-1->東京都港区三田一丁目4番28号</住所-1-> </代表者の住所>
	<!ENTITY % e.配達局番号 "#PCDATA"> <!ENTITY % e.町域番号 "#PCDATA"> <!ELEMENT 配達局番号 (%e.配達局番号;)> <!ELEMENT 町域番号 (%e.町域番号;)> <!ENTITY % e.郵便番号-3- "配達局番号, 町域番号"> <!ELEMENT 郵便番号-3- (%e.郵便番号-3-;)>	e.配達局番号 e.町域番号 e.郵便番号-3-	配達局番号 町域番号 郵便番号-3-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 申請者の郵便番号 (%e.郵便番号-3-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 代表者の住所 (郵便番号-3-, 住所-1-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <申請者の郵便番号> <配達局番号>100</配達局番号> <町域番号>1111</町域番号> </申請者の郵便番号> モジュールの"エレメント"を参照する例 <代表者の住所> <郵便番号-3-> <配達局番号>100</配達局番号> <町域番号>1111</町域番号> </郵便番号-3-> <住所-1->東京都港区三田一丁目4番28号</住所-1-> </代表者の住所>

モジュール名	モジュールの定義	モジュール		様式設計者の利用例	
		エンティティ	エレメント		
電話番号 市外局番 市内局番加入者番号 市外局番 市内局番 加入者番号	<ELEMENT 電話番号-1- (%e.電話番号-0-)>	e.電話番号-0	電話番号-1-	DTD定義	<ELEMENT 連絡先(電話番号-1-,電子メールアドレス)>
				マークアップ	<連絡先> <電話番号-1->03-1234-5678</電話番号-1-> <電子メールアドレス>aaaa@bbb.co.jp</電子メールアドレス> </連絡先>
	<ENTITY % e.電話番号-2- "#PCDATA"> <ELEMENT 電話番号-2- (%e.電話番号-2-)>	e.電話番号-2-	電話番号-2-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 電話 (%e.電話番号-2-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 連絡先(電話番号-2-, 電子メールアドレス)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <電話>03-1234-5678</電話> モジュールの"エレメント"を参照する例 <連絡先> <電話番号-2->03-1234-5678</電話番号-2-> <電子メールアドレス>aaaa@bbb.co.jp</電子メールアドレス> </連絡先>
	<ENTITY % e.電話番号-3- "#PCDATA"> <ELEMENT 電話番号-3- (%e.電話番号-3-)>	e.電話番号-3-	電話番号-3-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 電話 (%e.電話番号-3-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 連絡先(電話番号-3-, 電子メールアドレス)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <電話>(03)1234-5678</電話> モジュールの"エレメント"を参照する例 <連絡先> <電話番号-3->(03)1234-5678</電話番号-3-> <電子メールアドレス>aaaa@bbb.co.jp</電子メールアドレス> </連絡先>
	<ENTITY % e.電話番号-4- "#PCDATA"> <ELEMENT 電話番号-4- (%e.電話番号-4-)>	e.電話番号-4-	電話番号-4-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 電話 (%e.電話番号-4-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 連絡先(電話番号-4-, 電子メールアドレス)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <電話>0312345678</電話> モジュールの"エレメント"を参照する例 <連絡先> <電話番号-4->0312345678</電話番号-4-> <電子メールアドレス>aaaa@bbb.co.jp</電子メールアドレス> </連絡先>
	<ENTITY % e.市外局番 "#PCDATA"> <ENTITY % e.市内局番加入者番号 "#PCDATA"> <ELEMENT 市外局番 (%e.市外局番)> <ELEMENT 市内局番加入者番号 (%e.市内局番加入者番号)> <ENTITY % e.電話番号-5- "市外局番, 市内局番加入者番号"> <ELEMENT 電話番号-5- (%e.電話番号-5-)>	e.市外局番 e.市内局番加入者番号 e.電話番号-5-	市外局番 市内局番加入者番号 電話番号-5-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 電話 (%e.電話番号-5-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 連絡先(電話番号-5-, 電子メールアドレス)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <電話> <市外局番>03</市外局番> <市内局番加入者番号>1234-5678</市内局番加入者番号> </電話> モジュールの"エレメント"を参照する例 <連絡先> <電話番号-5-> <市外局番>03</市外局番> <市内局番加入者番号>1234-5678</市内局番加入者番号> </電話番号-5-> <電子メールアドレス>aaaa@bbb.co.jp</電子メールアドレス> </連絡先>
	<ENTITY % e.市内局番 "#PCDATA"> <ENTITY % e.加入者番号 "#PCDATA"> <ELEMENT 市内局番 (%e.市内局番)> <ELEMENT 加入者番号 (%e.加入者番号)> <ENTITY % e.電話番号-6- "市外局番, 市内局番, 加入者番号"> <ELEMENT 電話番号-6- (%e.電話番号-6-)>	e.市内局番 e.加入者番号 e.電話番号-6-	市内局番 加入者番号 電話番号-6-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 電話 (%e.電話番号-6-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 連絡先(電話番号-6-, 電子メールアドレス)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <電話> <市外局番>03</市外局番> <市内局番>1234</市内局番> <加入者番号>5678</加入者番号> </電話> モジュールの"エレメント"を参照する例 <連絡先> <電話番号-6-> <市外局番>03</市外局番> <市内局番>1234</市内局番> <加入者番号>5678</加入者番号> </電話番号-6-> <電子メールアドレス>aaaa@bbb.co.jp</電子メールアドレス> </連絡先>

モジュール名	モジュールの定義	モジュール		様式設計者の利用例	
		エンティティ	エレメント		
年号型日付 年号 年月 日 西暦型日付	<!ENTITY % e.年号型日付-1- "#PCDATA"> <!ELEMENT 年号型日付-1- (%e.年号型日付-1-;)>	e.年号型日付-1-	年号型日付-1-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 認許日 (%e.年号型日付-1-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 許認 (氏名-1-, 年号型日付-1-;)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <認許日>H12.01.30</認許日> モジュールの"エレメント"を参照する例 <許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <年号型日付-1->H12.01.30</年号型日付-1-> </許認>
	<!ENTITY % e.年号型日付-2- "#PCDATA"> <!ELEMENT 年号型日付-2- (%e.年号型日付-2-;)>	e.年号型日付-2-	年号型日付-2-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 認許日 (%e.年号型日付-2-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 許認 (氏名-1-, 年号型日付-2-;)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <認許日>平12.01.30</認許日> モジュールの"エレメント"を参照する例 <許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <年号型日付-2->平12.01.30</年号型日付-2-> </許認>
	<!ENTITY % e.年号型日付-3- "#PCDATA"> <!ELEMENT 年号型日付-3- (%e.年号型日付-3-;)>	e.年号型日付-3-	年号型日付-3-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 認許日 (%e.年号型日付-3-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 許認 (氏名-1-, 年号型日付-3-;)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <認許日>12.01.30</認許日> モジュールの"エレメント"を参照する例 <許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <年号型日付-3->12.01.30</年号型日付-3-> </許認>
	<!ENTITY % e.年号-4- "#PCDATA"> <!ELEMENT 年号-4- (%e.年号-4-;)> <!ENTITY % e.年号型日付-4- "年号-4-, 年, 月, 日"> <!ELEMENT 年号型日付-4- (%e.年号型日付-4-;)>	e.年号-4- e.年号型日付-4-	年号-4- 年号型日付-4-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 認許日 (%e.年号型日付-4-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 許認 (氏名-1-, 年号型日付-4-;)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <認許日> <年号-4->H</年号-4-> <年>12</年> <月>01</月> <日>30</日> </認許日> モジュールの"エレメント"を参照する例 <許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <年号型日付-4-> <年号-4->H</年号-4-> <年>12</年> <月>01</月> <日>30</日> </年号型日付-4-> </許認>
	<!ENTITY % e.年号-5- "#PCDATA"> <!ELEMENT 年号-5- (%e.年号-5-;)> <!ENTITY % e.年号型日付-5- "年号-5-, 年, 月, 日"> <!ELEMENT 年号型日付-5- (%e.年号型日付-5-;)>	e.年号-5- e.年号型日付-5-	年号-5- 年号型日付-5-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 認許日 (%e.年号型日付-5-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 許認 (氏名-1-, 年号型日付-5-;)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <認許日> <年号-5->平</年号-5-> <年>12</年> <月>01</月> <日>30</日> </認許日> モジュールの"エレメント"を参照する例 <許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <年号型日付-5-> <年号-5->平</年号-5-> <年>12</年> <月>01</月> <日>30</日> </年号型日付-5-> </許認>
	<!ELEMENT 年号型日付-6- (%e.日付-1;)>	e.日付-1	年号型日付-6-	DTD定義	<!ELEMENT 許認 (氏名-1-, 年号型日付-6-;)>
				マークアップ	<許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <年号型日付-6-> <年号>平成</年号> <年>12</年> <月>01</月> <日>30</日> </年号型日付-6-> </許認>

モジュール名	モジュールの定義	モジュール		様式設計者の利用例	
		エンティティ	エレメント		
	<ENTITY % e.西暦型日付-1- "#PCDATA"> <ELEMENT 西暦型日付-1- (%e.西暦型日付-1-)>	e.西暦型日付-1-	西暦型日付-1-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 認許日 (%e.西暦型日付-1-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 許認 (氏名-1-, 西暦型日付-1-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <認許日>20020531</認許日> モジュールの"エレメント"を参照する例 <許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <西暦型日付-1->20020531</西暦型日付-1-> </許認>
	<ENTITY % e.西暦型日付-2- "#PCDATA"> <ELEMENT 西暦型日付-2- (%e.西暦型日付-2-)>	e.西暦型日付-2-	西暦型日付-2-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 認許日 (%e.西暦型日付-2-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 許認 (氏名-1-, 西暦型日付-2-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <認許日>2002-05-31</認許日> モジュールの"エレメント"を参照する例 <許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <西暦型日付-2->2002-05-31</西暦型日付-2-> </許認>
	<ENTITY % e.西暦型日付-3- "年-2,月,日"> <ELEMENT 西暦型日付-3- (%e.西暦型日付-3-)>	e.西暦型日付-3-	西暦型日付-3-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 認許日 (%e.西暦型日付-3-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 許認 (氏名-1-, 西暦型日付-3-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <認許日> <年-2>2002</年-2> <月>05</月> <日>31</日> </認許日> モジュールの"エレメント"を参照する例 <許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <西暦型日付-3-> <年-2>2002</年-2> <月>05</月> <日>31</日> </西暦型日付-3-> </許認>
	<ENTITY % e.西暦型日付-4- "#PCDATA"> <ELEMENT 西暦型日付-4- (%e.西暦型日付-4-)>	e.西暦型日付-4-	西暦型日付-4-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 認許日 (%e.西暦型日付-4-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 許認 (氏名-1-, 西暦型日付-4-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <認許日>020531</認許日> モジュールの"エレメント"を参照する例 <許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <西暦型日付-4->020531</西暦型日付-4-> </許認>
	<ENTITY % e.西暦型日付-5- "#PCDATA"> <ELEMENT 西暦型日付-5- (%e.西暦型日付-5-)>	e.西暦型日付-5-	西暦型日付-5-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 認許日 (%e.西暦型日付-5-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 許認 (氏名-1-, 西暦型日付-5-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <認許日>02-05-31</認許日> モジュールの"エレメント"を参照する例 <許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <西暦型日付-5->02-05-31</西暦型日付-5-> </許認>
	<ELEMENT 西暦型日付-6- (%e.日付-2)>	e.日付-2	西暦型日付-3-	DTD定義	<ELEMENT 許認 (氏名-1-, 西暦型日付-6-)>
				マークアップ	<許認> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <西暦型日付-6-> <年-2>02</年-2> <月>05</月> <日>31</日> </西暦型日付-6-> </許認>

モジュール名	モジュールの定義	モジュール		様式設計者の利用例	
		エンティティ	エレメント		
時刻 時 分 秒	<!ENTITY % e.時刻-1- "#PCDATA"> <!ELEMENT 時刻-1- (%e.時刻-1-;)>	e.時刻-1-	時刻-1-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 提出時刻 (%e.時刻-1-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 提出 (氏名-1-, 時刻-1-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <提出時刻>102000</提出時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <提出> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <時刻-1->102000</時刻-1-> </提出>
	<!ENTITY % e.時刻-2- "#PCDATA"> <!ELEMENT 時刻-2- (%e.時刻-2-;)>	e.時刻-2-	時刻-2-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 提出時刻 (%e.時刻-2-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 提出 (氏名-1-, 時刻-2-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <提出時刻>10:20:00</提出時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <提出> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <時刻-2->10:20:00</時刻-2-> </提出>
	<!ELEMENT 時刻-3- (%e.時刻-2-;)>	e.時刻-2	時刻-3-	DTD定義	<!ELEMENT 提出 (氏名-1-, 時刻-3-)>
				マークアップ	<提出> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <時刻-3->1020</時刻-3-> </提出>
	<!ENTITY % e.時刻-4- "#PCDATA"> <!ELEMENT 時刻-4- (%e.時刻-4-;)>	e.時刻-4-	時刻-4-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 提出時刻 (%e.時刻-4-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 提出 (氏名-1-, 時刻-4-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <提出時刻>10:20</提出時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <提出> <氏名-1->山田太郎</氏名-1-> <時刻-4->10:20</時刻-4-> </提出>
	<!ENTITY % e.秒 "#PCDATA"> <!ELEMENT 秒 (%e.秒;)> <!ENTITY % e.時刻-5- "時, 分, 秒"> <!ELEMENT 時刻-5- (%e.時刻-5-;)>	e.秒 e.時刻-5-	秒 時刻-5-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 提出時刻 (%e.時刻-5-;)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 提出 (氏名-1-, 時刻-5-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <提出時刻> <時>10</時> <分>20</分> <秒>00</秒> </提出時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <提出> <氏名>山田太郎</氏名> <時刻-5-> <時>10</時> <分>20</分> <秒>00</秒> </時刻-5-> </提出>
	<!ELEMENT 時刻-6- (%e.時刻-1-;)>	e.時刻-1	時刻-6-	DTD定義	<!ELEMENT 提出 (氏名-1-, 時刻-6-)>
				マークアップ	<提出> <氏名>山田太郎</氏名> <時刻-6-> <時>10</時> <分>20</分> </時刻-6-> </提出>



モジュール名	モジュールの定義	モジュール		様式設計者の利用例	
		エンティティ	エレメント		
年号型日時 西暦型日時	<!ENTITY % e.年号型日時-1- "#PCDATA"> <!ELEMENT 年号型日時-1- (%e.年号型日時-1-)>	e.年号型日時-1-	年号型日時-1-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.年号型日時-1-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 発生 (理由, 年号型日時-1-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>H14.05.31T13:30:00</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <年号型日時-1->H14.05.31T13:30:00</年号型日時-1-> </発生>
	<!ENTITY % e.年号型日時-2- "#PCDATA"> <!ELEMENT 年号型日時-2- (%e.年号型日時-2-)>	e.年号型日時-2-	年号型日時-2-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.年号型日時-2-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 発生 (理由, 年号型日時-2-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>平14.05.31T13:30:00</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <年号型日時-2->平14.05.31T13:30:00</年号型日時-2-> </発生>
	<!ENTITY % e.年号型日時-3- "#PCDATA"> <!ELEMENT 年号型日時-3- (%e.年号型日時-3-)>	e.年号型日時-3-	年号型日時-3-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.年号型日時-3-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 発生 (理由, 年号型日時-3-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>14.05.31T13:30:00</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <年号型日時-3->14.05.31T13:30:00</年号型日時-3-> </発生>
	<!ENTITY % e.西暦型日時-4- "#PCDATA"> <!ELEMENT 西暦型日時-4- (%e.西暦型日時-4-)>	e.西暦型日時-4-	西暦型日時-4-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.西暦型日時-4-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 発生 (理由, 西暦型日時-4-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>20020531T133000</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <西暦型日時-4->20020531T133000</西暦型日時-4-> </発生>
	<!ENTITY % e.西暦型日時-5- "#PCDATA"> <!ELEMENT 西暦型日時-5- (%e.西暦型日時-5-)>	e.西暦型日時-5-	西暦型日時-5-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.西暦型日時-5-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 発生 (理由, 西暦型日時-5-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>2002-05-31T13:30:00</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <西暦型日時-5->2002-05-31T13:30:00</西暦型日時-5-> </発生>
	<!ENTITY % e.西暦型日時-6- "#PCDATA"> <!ELEMENT 西暦型日時-6- (%e.西暦型日時-6-)>	e.西暦型日時-6-	西暦型日時-6-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.西暦型日時-6-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 発生 (理由, 西暦型日時-6-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>020531T133000</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <西暦型日時-6->020531T133000</西暦型日時-6-> </発生>
	<!ENTITY % e.西暦型日時-7- "#PCDATA"> <!ELEMENT 西暦型日時-7- (%e.西暦型日時-7-)>	e.年号型日時-7-	年号型日時-7-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.西暦型日時-7-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 発生 (理由, 西暦型日時-7-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>02-05-31T13:30:00</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <西暦型日時-7->02-05-31T13:30:00</西暦型日時-7-> </発生>
	<!ENTITY % e.年号型日時-8- "#PCDATA"> <!ELEMENT 年号型日時-8- (%e.年号型日時-8-)>	e.年号型日時-8-	年号型日時-8-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <!ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.年号型日時-8-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <!ELEMENT 発生 (理由, 年号型日時-8-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>H14.05.31T13:30</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <年号型日時-8->H14.05.31T13:30</年号型日時-8-> </発生>

モジュール名	モジュールの定義	モジュール		様式設計者の利用例	
		エンティティ	エレメント		
	<ENTITY % e.年号型日時-9- "#PCDATA"> <ELEMENT 年号型日時-9- (%e.年号型日時-9-)>	e.年号型日時-9-	年号型日時-9-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.年号型日時-9-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 発生 (理由, 年号型日時-9-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>平14.05.31T13:30</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <年号型日時-9->平14.05.31T13:30</年号型日時-9-> </発生>
	<ENTITY % e.年号型日時-10- "#PCDATA"> <ELEMENT 年号型日時-10- (%e.年号型日時-10-)>	e.年号型日時-10-	年号型日時-10-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.年号型日時-10-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 発生 (理由, 年号型日時-10-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>14.05.31T13:30</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <年号型日時-10->14.05.31T13:30</年号型日時-10-> </発生>
	<ENTITY % e.西暦型日時-11- "#PCDATA"> <ELEMENT 西暦型日時-11- (%e.西暦型日時-11-)>	e.西暦型日時-11-	西暦型日時-11-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.西暦型日時-11-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 発生 (理由, 西暦型日時-11-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>20020531T1330</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <西暦型日時-11->20020531T1330</西暦型日時-11-> </発生>
	<ENTITY % e.西暦型日時-12- "#PCDATA"> <ELEMENT 西暦型日時-12- (%e.西暦型日時-12-)>	e.西暦型日時-12-	西暦型日時-12-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.西暦型日時-12-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 発生 (理由, 西暦型日時-12-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>2002-05-31T13:30</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <西暦型日時-12->2002-05-31T13:30</西暦型日時-12-> </発生>
	<ENTITY % e.西暦型日時-13- "#PCDATA"> <ELEMENT 西暦型日時-13- (%e.西暦型日時-13-)>	e.西暦型日時-13-	西暦型日時-13-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.西暦型日時-13-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 発生 (理由, 西暦型日時-13-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>020531T1330</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <西暦型日時-13->020531T1330</西暦型日時-13-> </発生>
	<ENTITY % e.西暦型日時-14- "#PCDATA"> <ELEMENT 西暦型日時-14- (%e.西暦型日時-14-)>	e.西暦型日時-14-	西暦型日時-14-	DTD定義	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <ELEMENT 発生年月日時刻 (%e.西暦型日時-14-)> モジュールの"エレメント"を参照する例 <ELEMENT 発生 (理由, 西暦型日時-14-)>
				マークアップ	モジュールの"エンティティ"を参照して別名を宣言する例 <発生年月日時刻>02-05-31T13:30</発生年月日時刻> モジュールの"エレメント"を参照する例 <発生> <理由>故障</理由> <西暦型日時-14->02-05-31T13:30</西暦型日時-14-> </発生>

申請データ設計ガイドライン: 汎用受付等システムの構築・運用に関する共通事項 (平成14年3月29日 基本問題専門部会了承)における申請データ設計ガイドライン